



草木染め



道を歩いていても、自然と草木に目が行くようになりました。いつも草木のシーズンを考えているせいか、以前より季節の移り変わりを強く感じますね。

(スタッフ大竹裕子さん)

かせ上げ

糸をかせ枠に巻き取っていく作業です。

ひとかせの回転数は560回転。途中で糸が切れてしまうなどのトラブルで、うっかり回転数を忘れてしまつと、最初から数え直さなくてはいけないので、手元にはメモが欠かせません。口ずさんで数え

ていると、他のスタッフから苦情がくるため、今は心の中で数えています(笑)。

(スタッフ河邊顕子さん)



かせ上げ



おさとおし

おさとおし

並べた縦糸を織機のおさ(よこ糸を打ち込むくし状の器具)に通していきます。

一寸(3.75cm)の間に40ある竹の羽の間に上下二本の縦糸を差して

いきます。糸の順番を間違えたり、糸を差し込むのを飛ばしたりすると、次の作業でとても苦労します。正確にやるのがとても大切です。

(スタッフ菰田眞理子さん)

機織り

最後の総仕上げに、織機で布を織っていきます。

おさとおしが終わると、ようやく機織りです。これまでの工程の中で、少しでも気を抜いた部分があると、たて糸が切れるなどのトラブルが起こります。ひとつひとつの作業の大切さを思い知らされ、織機の前に座ると改めて身が引き締まります。

(スタッフ宮本敬子さん)



機織り

手織場は、4月から自主工房となり、さらなる技術の向上を目指します。また、受講生を募集し、三河木綿の保存と発展に努めていきます。新しい手織場にご期待ください。

手織三河木綿工房

「手織場展」

手織場で復元した三河木綿・三河編の作品展示のほか、実演や体験コーナーもあります。手仕事のぬくもりある作品をお楽しみください。

第1回(名古屋会場)

とき 3月7日(月)~12日(土)

午前10時~午後4時

ところ 愛知県デザインセンター
(愛知県産業貿易館西館7F)

第2回(蒲郡会場)

とき 3月18日(金)~27日(日)

午前10時~午後5時

(最終日は午後4時まで)

ところ 蒲郡市博物館

ギャラリー

来場者全員に
棉の種をプレゼント